

私の原点

A.M

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

緑多い地方都市に生まれた私は、いつも自然の中にいました。活発な男の子でしたので、時間を忘れて草野球をしていました。日没とともに、「日没再試合だ。明日もやろう!」と、空き地から母親の待つ自宅に足早に帰る。その時、何気なく空を見上げると、山の端に、上弦の月や宵の明星を見ることもしばしば。子供心に探究心をくすぐられました。

他の男の子同様、昆虫や動物にも興味を持っていました。空き地は、昆虫との出会いの場。そして、珍しい昆虫に出会った時には、そこは私の秘密の場所となりました。雨の日には友達の昆虫に会えません。ファール昆虫記や昆虫図鑑が、私の遊び場となりました。

高校一年生のとき、悪友からの誘いで、清里・清泉寮二泊の旅に出かけました。若者のノリで何の準備もなく、八ヶ岳の主峰“赤岳”に登りました。その際、歩けども歩けども続く、広大な八ヶ岳山麓に、短い夏を謳歌する花が咲き誇っていることに気付き、昆虫・動物に加えて、植物にも興味を覚えました。

山登りに目覚めた私は、高校・大学時代、近郊の山のみならず、南アルプス・北アルプスを楽しみながら、自然とともに自分がいるということを感じました。その圧巻は、南アルプスの北岳から塩見岳を縦走した時のことです。

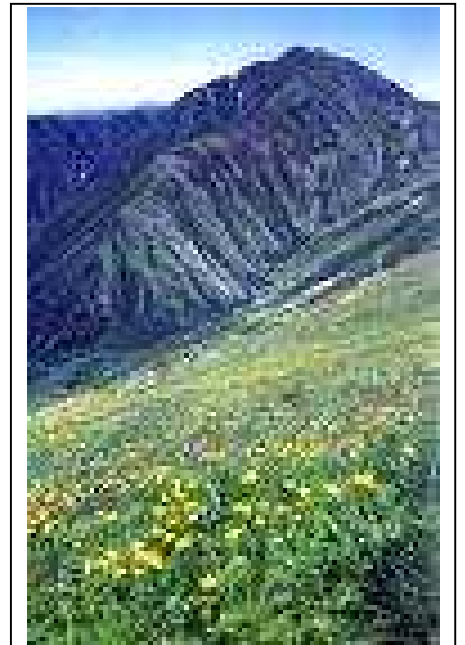
大井川の源流で森林限界を超えた山深いところで、一休み。眼下には大井川の流れが真っ直ぐ駿河湾をめがけて南に向う。大きな空をさえぎる両側の緑の尾根には、たくさん草花が咲き乱れ、私を包み込む。「あ～、私は自然の懷に抱かれている」。今まで経験のない思いに、体が震えたことを覚えています。

某会社に入社して、現在、環境部にいるのは、何かの“縁”なのでしょう。また、環境博といわれた「愛・地球博」にも関わらせていただいたのも、こうした“縁”なのかもしれません。

昨今、生物多様性という言葉が頻繁に使われていますが、自然とともにいる私にとって、生物多様性とは、幼い頃からの“私の原点”のような気がします。



(高校時代)



(荒川岳)



(森林)

わたしの… げんてん???

「変」? CHENGE …?
…うーん…。 ! ソウ です。 !

「もっと2代表との出会い!!!」
息子さんまで教えることになるとは…。
もう、長い付き合いです。「もっと2」とともに
その歴史(ちょっと大袈裟)ができました。



平成20年度なごやエコキッズ環境サポーター交流会に、参加して・・・

K.A

2008年11月1日、なごやエコキッズ環境サポーター交流会が行なわれました。もっと2のメンバーも8名が登録していますが、私が代表で参加してきました。この日の参加者は、30名ほど。環境サポーターは、なごや環境塾修了生(1期、3期、6期、7期、8期)のほか、環境カウンセラー、自然観察指導員、地球温暖化防止活動推進センターほか高年大学の団体など、86名が登録されています。(2008.10.31現在)

平成16年度、このしくみが立ち上がってから、4年が経とうとしています。今回の交流会では、いつもの実施報告、意見交換のほかに、環境局からの提案がありました。今まで、環境サポーターというしくみは、子どもたちの環境への意識を高め、行動に移すきっかけ作りとして、市内の幼、保育園へ派遣されるものでしたが、これを小学校へ拡げることを考えているとのことで、2008.12.1より2009.3.31までの間、試行的に実施するという提案でした。

今まで、もっと2の環境サポーター登録プログラムは、保護者向け「エコライフのために～小さな1歩・たくさんの10歩」、園児向け「エコかるた～みんなでへらそうCO2」の2つでした。今回の試行は、3学期という短い期間ですし、各学校に配布されるメニュー表だけで、どれだけのオファーがあるかわかりませんが、小学生対象という事で、「カンちゃんのダメダメ日記」を登録しました。

今回の意見交流会では、環境都市推進課の担当が代わったことのアいさつがありました。新しい提案のほかに、目新しいものはなく、改めて感じたのは、4年が経って、立ち上げ時の背景を知っている人が、少なくなってきたということ・・・要するに、人が変わるたびに、受け継がれるべきものが、薄れてきているということです。

もともと、当時のエコパル館長から環境サポーターというしくみが立ち上がるため、プログラムを作ってほしいと、1期生から3期生までに依頼がありました。これを受けて、もっと2としても、学びの場になると考え、プログラムの作成を受ける事になったといういきさつがあります。

6期生は、もともと、環境サポーター登録のための塾でしたから、当然しくみそのものは知っていますが、2期生の人や他の期には、伝わっていないのはなぜかという、サポーターからの質問に、答えられる行政の人がいない現状です。なごや環境塾とエコキッズは、担当が違うため、連携は取れていないのが当たり前なのかもしれません。環境塾そのものも、期が違うたびに、軸になるものがぶれてしまった事にも関連していると思われませんが、だれも、説明ができない議論に、歯がゆさを感じました。このしくみは、より良く改善されるべきなのですが、依然として、依頼があって派遣されるだけの形が続いています。子どもたちを取り巻くいろんな立場の人が関わっていけるしくみなので、もっと、相互に活かしあえたり、人材を育成していく場になったり、新しい協働の場にはできないものでしょうか？

私たちもっと2としての、スタンスは貫きつつ、環境サポーターのしくみづくりに、関わっていけたらいいかと思っています。学びあいの場としても、見守っていきたいと思っています。



エコかるた実施の様子



意見交換の様子

ちょっとひといき・・・里山と生物多様性について考えよう

ドクター



「地球温暖化」を小学生でも口にする昨今。「生物多様性」は、それほど身近になっているでしょうか。「生物多様性」が豊かということで、人が手を加えた自然として「里山」が世界的に注目されていますが・・・

名古屋市内にはその里山が見られるのでしょうか。緑地が多い市内東部には水田が少ないのですが、行政と市民の手で復元された田んぼが猪高緑地と荒池緑地にあり、ちょっとした里山風景を醸し出しています。

天白区の平針には、昨年度まで稲作が行われていた田んぼを含む里山林が宅地開発業者の手に渡り、市内の貴重な里山が失われようとしています。守山区の中志段味の自然環境豊かな市エコファーマー「野田農場」も土地区画整理組合から移転を迫られています。便利さを要求し、利益を追求する開発が今なお、市内では進行中なのでしょう。

現在、COP10で里山を復元しようとする行政。しかし現実には今あるいくつかの里山が消えようとしています。復元と維持、開発と自然保護・保全。先立つものより、長い目でみた地球・地域環境にとって、どちらが持続可能なのでしょうか。

エコかるた

さ ~ つ の札です。
あ ~ こ は、前号までを参照。



さめないうちに
おふるはじゅんばん
つづけてはいる



しょうエネマーク エコマーク
よくみてえらぼう
グリーンこうにゅう



ずいはんジャー
ほおんじかんは
みじかくしよう



せかいじゅうの
みんなで
しぜんをまもろうね



そうじきを
かけるまえには
へやのせいとん



たのしいな
みんなで おどろう
エコソング



ちきゅうのなきごえ
きこえたら
できることからはじめよう!



つかっていない
でんかせいひんは
コンセントからぬきましょう

お知らせ掲示板

* 詳細は、Aまでお願いします。

- ・「エコかるた」なごやエコキッズ環境サポーター 1月9日(金) 名東区牧野原保育園
- ・「エコかるた」なごやエコキッズ環境サポーター 1月14日(水) 中区大池保育園
- ・1月定例会 1月17日(土) なごやボランティア・NPOセンター フリースペース
(伏見ライフプラザ1 2階) 13:30~15:30
- ・「エコかるた」なごやエコキッズ環境サポーター 2月5日(木) 緑区めぐみ保育園

編集後記

2009年の最新号、ジャンボ通信 Vol.18 いかがでしたか。

「もっと2」の活動もいよいよ10年目に入ります。紆余曲折。活動数減や会員数減という現実に直面していますが、ポレポレ精神は相変わらず。一步一步着実に歩んでいるのが「もっと2」らしさと思っています。

今回は、会員Mさんの「原点」特集です。懐かしい白黒写真が何となく時の経過を感じさせてくれます。貴重な写真と思い出ありがとうございました。

では、2009年もよろしくお祈りします。

(BY ドクター)

